

第3回 議会と語る会 質疑応答まとめ

「第3回議会と語る会」の開催にあたり、市民の皆様にご参加いただき、事前質問並びに会場でのご意見やご質問などをお寄せいただき感謝申し上げます。

今回の質疑応答をまとめさせていただきました。お寄せいただきました内容は、今後の議会活動に反映するよう努めさせていただきます、市政の発展へつなげて参ります。

第3回議会と語る会【事前質問1】

市内の市の土地の空き地の有効利用に対して、用地課が有効に使っているのか。

(50代・男性)

常滑市の用地は、現在目的があり利用している土地（行政財産）と、用途目的がない土地（普通財産）があります。

質問にあります「市の土地の空き地」は主に普通財産（面積約159万平方メートル）です。

土地の有効活用につきましては、貸付、売却を行っています。

市普通財産全体のうち、字が管理運営しているのが約106万平方メートル、市が所管の土地は約53万平方メートルになります。市が所管している土地の中で貸付を約11万平方メートル行っており、年間約6千万円が借地料として市に入ってきます。

重点的な活用として、貸地については、榎戸、大谷、広目地区でソーラー発電のために民間事業者へ貸与、飛香台の商業施設へ貸与、小規模な空き地については、駐車場等で貸与を行っています。

また、土地の売却については、売却可能性が高い土地は一般公募で売却し、その後も随時申請を受け付けております。

平成27年度は、11月末時点の処分面積は約1,200平方メートル（約7,600万円）です。そのうち、飛香台の保留地処分が約900平方メートル（約7,000万円）、道路等を用途廃止した土地の処分面積が約300平方メートル（約600万円）になります。

空き地の有効活用については、市議会でも一般質問等で取り上げており、今後も市議会として市の持つ土地については有効利用を提案していきたいと思っております。

【参考資料】

■平成23年度から平成27年度までの売却土地の面積及び売却額

年度	面積	売却額	備考
平成23年度	518.74 m ²	2,080万4,869円	
平成24年度	5,651.35 m ²	2,5017万1,606円	
平成25年度	3,561.85 m ²	1億2,032万0,407円	飛香台の公募売却を開始
平成26年度	3,552.21 m ²	1億116万1,742円	
平成27年度※1	1,208.58 m ²	7,644万2,686円	
計	14,492.73 m ²	5億6,890万1,310円	

※1 平成27年度は平成28年1月15日現在の売却面積・売却額。

■貸付土地

年度	収入額	備考
平成 23 年度	2,783 万 3,089 円	
平成 24 年度	5,532 万 7,822 円	ベイシアと定借締結
平成 25 年度	5,779 万 1,789 円	
平成 26 年度	6,154 万 4,468 円	
平成 27 年度※ ¹	5,501 万 2,218 円	
計	2 億 5,750 万 9,386 円	

※1 平成 27 年度は平成 28 年 1 月 15 日現在の実績額

第 3 回議会と語る会【事前質問 2】

別紙添付ファイルは「第 2 回議会と語る会」の議事録の一部のコピーです。

競艇事業の収支が改善し、かつてのように市の財政を支える事業になった気がする。場外舟券売り場付近に行くとも事業を妨害する活動を常滑警察署の地域課がやっている。交通事故の心配のない所で市民やボートファンの取り締まりをしている。せっかく来てもらったのに嫌な印象を与えている。交通安全に寄与していない。市長は言いづらいと思うので、議長・副議長・担当委員長がそって常滑警察署に要請してはどうか。後略

この件について質問させていただきます。

場外舟券売り場に行く途中の無信号交差点（T字路）の件です。この交差点はなぜか行き止まりの道路が優先道路となっております。このため、西側から東進の車両は一時停止となります。T字路ですからそれでいいのですが、最近ここを東進する車両はかなり増加しております。その車両は必ず一時停止が必要となります。行き止まりの道でも優先道路があれば一時停止は当然です。

ここでの疑問はこの交差点の改良は出来ないかと言う事です。優先道路の変更です。それには道路の形状を変えないと無理でしょう。形状を変えるには当然工事は必要でしょう。当然回りの土地も必要です。工事をすれば費用もかかります。しかし、前回あの様な質問があったと言う事はここを利用する人で疑問に思っているのは私だけでない様です。改善は無理なのか、費用が無いのか。

この道路、利用を始めて 10 年余だと思いますが、その間、行政関係者は誰も不信に思わなかったのか。解っていて、検討はしたのか。検討しても不可能な理由があったのか。その気もないのか。

多数の利用者はこのままで不信に思いながら何時までも一時停止をすれば良いのですが。議会で回答可能な範囲でお願いいたします。（樽水・男性）

常滑警察署は、一時停止線について廃止の検討に入っているようです。

道路は愛知県の管理する臨港道路のため、常滑警察署と愛知県衣浦港務所で協議の上で決定します。一時停止線の廃止や時期などについては今後発表される予定です。

市議会としても、市民の皆様の要望は市政へ反映できるよう取り組んでまいります。

第3回議会と語る会【事前質問3】

◎議会改革という掛け声ばかりで、今までに何をどう改革したのかははっきりと見えてこない。説明がほしい。

◎有権者数に対して議員定数が半田市、大府市、知多市と比較して常滑市は多すぎである。議員の質の向上のためにも削減は必要である。

有権者数／定数＝半田市 93, 220 / 22 = 4, 237

大府市 67, 555 / 19 = 3, 555

知多市 67, 112 / 20 = 3, 355

常滑市 45, 285 / 18 = 2, 515

◎政務活動費の情報公開は必要であるがインターネットや情報コーナーでの公開のほかに、例えば年度末の議会だよりに会派として幾支出したのかを簡潔に示す等、費用効果も追及すべき課題と考えます。

(樽水・男性)

平成26年の3月議会に「常滑市議会議員政治倫理条例」12月議会に「常滑市議会基本条例」を制定しました。

政治倫理条例・議会基本条例と前後しますが、議会改革の主な取り組みを紹介します。

平成25年：第1回議会と語る会開催

委員会や会派の視察報告書をホームページに掲載

平成26年：一般質問のYouTubeによる録画映像配信

市役所1階に市議会情報コーナー設置

今まで委員長だけであった議案説明を全議員に説明

平成27年：一般質問の時に、当局側に反問権を認める

平成28年度から始まる「第5次常滑市総合計画の基本構想」の策定について審議した特別委員会を設置し、総合計画基本構想について審議

なお、委員会の現地調査や消防団、教育委員会、警察署等の各種団体との懇談、陳情者との意見交換を行うなども随時行っております。

今後は、市民の方により市議会をわかっていただく取り組みとして、市議会だよりのリニューアル、ITを導入した議会活動を行ってまいります。

議員定数ですが、削減しても質問質疑、予算条例、意見書等の可否や、請願の採択や不採択などもできます。しかしながら議員が減れば市に対しての批判や監視能力が低下します。また、一番大事なのは、市民の要望を十分に反映できなくなるのではないのでしょうか。

議員定数は、平成19年の改選時に26⇒21議席に減、平成23年の改選時から21⇒18議席になりました。地域的な状況や人口、財政力等について議員一人当たりの数を算出し、隣接市町、愛知県内の市及び全国の122市の類似団体との比較を行いながら18人が必要であるとして決めたものです。

政務活動の収支報告については、毎年8月1日発行の「市議会だより」に掲載しております。「市議会だより」には、紙面の都合上項目しか掲載しておりません。詳細は、インターネットや市役所入口の市議会情報コーナーでご覧いただきたいと思います。

知多半島には 4 つの公立病院がある。半田病院と西知多総合病院の透析施設は少なく、常滑市民病院のような 30 床もある透析施設はない。新しい病院になって災害が起こった場合には、知多半島の透析患者を受け入れる側になると思う。透析するには水の確保が大変で、常滑市民病院は地下水を使っている。地下水が使えなくなった場合、知多半島の透析患者を受け入れるとなるとかなりの水の量が必要になるため、どうやって水を確保すればいいのか非常に心配している。災害時に透析患者を受け入れて治療する際には心配なので検討いただきたい。

災害拠点病院にはなれなかったが、透析に関していえば多くの知多半島の患者を受け入れることが出来ると思う。意見として知っていただきたいと思う。

市民病院とは情報交換のための懇談会をしているので、いただいた意見を参考にその場で話が出来ればと思う。

議員は行政の執行部ではないので行政の点でこのことはどうなっているのか、ということは聞くことが出来ないが、そうすると議会はどういう役割をしているのか。行政の日常業務に対する質疑応答とは違うため何を聞いていいのかわからない。議会と語る会の基本的な性格がわからない。議会として今の常滑市の課題、問題点を市民に対してどう考えているのか、議会として市政をどう考えているのか問題提起をして欲しい。議会で様々な討論があるが、議会でこういう決定があったということは市議会だよりで知るわけだが、どういうことが問題点として対象になっているのかということが知りたいし、市民がどの様に考えるのかというような問題提起がしているのではないかと。

議会と語る会を 3 回目をやるにあたり、そういった意見を真摯に受け止めながら他の市町ではポイントを絞ってその事について市民に意見を聞く、例えば市庁舎を建てるにあたり是か非か非常に大きな問題があるところはポイントが絞られるのかと思うが、我々も幅広い議論の中で皆さんの意見を聞きながら進めていく。テーマを絞って議会としてどうしていくのか議会は何を考えていくのか論点を細分化して最終的にこういう話が出来るといふのは理想なので、今後のことも踏まえて考えていきたい。

問題を提起すると言うことは、色々あると思う。議会の中でも意見の分かれることはある。例えば、常滑東小学校の子どもの数が増えてきたため、新校舎を建てなければならないという問題もあった。新規に建てるに 10 数億円かかるが、軽鉄骨に変えることによってコストの削減も図れるとか様々な議論において、昨年議会としては初めて本会議場でこの件に関して付帯決議を出した。

大きな問題がある時はテーマを持ってできるかと思うが、今後はそういったテーマを少しずつ考えながら、意見と合わせてバージョンアップした議会と語る会を検討していきたい。

例えば大野小学校と鬼崎北小学校の件では、鬼崎北小は児童が増える、大野小は減っている、教室も空いてきている、部活も出来ないという問題もある。このような問題はどのように考えているのか。

今の現状としては、鬼崎北小学校にクラスを増設して対応するというのが市の方針であるが、長い将来を考えると、常滑東小学校の増設の付帯決議には常滑市全体の学校配置と生徒と児童の配置を考えるという決議であった。今言われたことも問題だと捉えて、議会としても受け止めて検討していく。

大野小学校の校門近くに住んでいるにもかかわらず、鬼崎北小学校に通っている児童もいる。鬼崎北小学校には北汐見坂に住んでいる児童が3分の2になる。国道や踏切を渡って登校して危険である。鬼崎中学校と青海中学校も生徒数に格差が出ている。また、教室の問題が出てくると思うが、財政がひっ迫している中でなぜわからないのか。

市長や議員の報酬を上げると新聞記事が出ていたが、会社だったらつぶれている。上げるなんてもつてのほか。議員は名誉職。公共施設や道路の改修などで今後1,000億円もかかるといっているのに、その金をどこから出してくるのか。

財政の面も捉えた上で議会は市民の声を行政に届ける機関であるので、前向きに検討していきたい。

議員報酬については、報酬審査会から答申が出た段階である。類似団体との比較、全国の他自治体の中でも、常滑市議会の議員報酬は自ら1割のカットをしていたため低い水準だということも踏まえ、議員ではアップの答申が出されたというのが現状です。今後の話し合いの中で進めていく。

同時に、報酬審査会から出された意見の中には、議会が見えにくいのではという意見もあり、真摯に受け止めて議会としても推進していかなければいけないと考える。ハード部分の整備も必要な答申内容のため、改善していかなければならない。議会が市民に見えるかたちになるように行っていきたい。その一環で、「ええね常滑」というフェイスブックのページに、議会の情報をもう少しリアルタイムに上げていこうという進め方もしている。また、「市議会だより」も変わらないままできているので、次年度、よりよい「市議会だより」を作ろうとしている。

議会に出される議案を前もって市民に知らせて欲しい。市民が各議員に、意見を言うことがやりやすいのではないかと。

決まって、2ヶ月ほど経ってから知らされるのは遅いのでは。

結果報告は、遅れることがある。ホームページを見ることが出来る環境がある方には、公表されたその日に議案がわかるようになっている。ホームページを見ることが出来ない環境の方には、市議会の日程や議案などの事前の啓蒙・公表をしていきたいと思う。

事前質問で出された、ウインボとこなめに行く道路の停止線変更について検討に入っているということだが、いつ頃なのか。

市の防犯カメラの状況はどのようになっているのか。

旧市民病院の取り壊しが今年度中に行われるとのことだが、実際いつ頃やり始めてどのくらいの費用がかかるのか。

停止線の変更時期は聞いていない。

防犯カメラについて承知しているのは、やきもの散歩道の大駐車場や登り窯広場の辺り(防犯協会が設置している)。各地で犯罪がある時に防止する事件解決に発揮することもある。ただし費用がかかることもあり、防犯協会と協力することで安価に設置できるということを紹介した。

旧市民病院の解体は、現在アスベストの除去や土壌の調査等を行っており、正確な金額

は出ていない。時期的には、来年度に解体できればと思うが、財政的な面もあり相当な金額になれば要検討となる。

議員報酬を上げることに對して何がいけないのか。高い報酬をもらうことがいけないのではなく、働かない議員がいることがいけない、それに見合う働き方をすればいいのではないか。それを監視していくのが市民の役割であって、知る努力をしなければならない。議員は、自分たちが誇りを持って常滑市のために働いて報酬をもらうのがなぜいけないのか。

名鉄の駅ビルの中に保育園があるが、非常に早い時間から遅い時間やっている。この10年ぐらい急速に企業の体質が変わってきており、子どもが産まれても継続して働けるような支援はしているが、フルタイムで子育て中の女性が働くことが出来ない。この保育園を知った時にもっと全面的に打ち出して常滑が子育てに優しいまちであるといえるぐらいの発信をして欲しい。子育て世代や共働きが安心して出来るようなことを考えて欲しい。

駅前の保育園は民間の無認可だが、常滑市には市立の保育園が充実している。今の意見も参考にしながら、飛香台は子育て世代が新築をして住んでいるので、市議会も真摯に受け止め前向きに検討していきたい。

市役所の災害訓練はやっているのか。市役所建物の耐震補強はしているのか。

市役所の訓練は把握していないが、通常の防災訓練については市の職員も入ってやっている。

市役所本庁舎の耐震補強については、平成28年度に耐震の基本設計、平成29年度に実施設計をやっていく。平成30年・31年度にかけて工事を行うと聞いている。

【要望・感想】

事前質問3にあった、政務活動費に関連することを要望したい。

「市議会ホームページや市役所入り口の市議会情報コーナーでご覧頂けます」との回答だが、政務活動の報告書を見たが、3人の議員で視察に行った時の報告書はA4の1ページだけで複数人で行っているのに1ページというのはおかしいのではないか。視察に行った議員それぞれが同じ会派で行ったとしても、違った思い、感想を持っていると思うので、市民としても個人個人の議員の考え方を評価が出来るということにもなるので、ぜひそれぞれの議員の感想を開示していただきたい。

イオンモールが出来たり、常滑駅前にも飲食店が出来たりと印象が変わってきた。新しく住む方も増えてきて考え方も変わってきた。議員も議会も変化について行って欲しい。

日々市民と語り合い、結びついて欲しいと思う。

市議会の傍聴は平日の昼間ということで見に行くことが難しいということもあり、議会と語る会をやっているということだけでも好感が持てる。